

いちい

岐南中学校 学校だより

平成 26 年 6 月 11 日

岐南中学校教育目標

夢や希望の実現のために
自ら動く

スマホ持たせますか、どう使わせますか

インターネットや携帯、スマートフォンを使用したことによって、友達とトラブルになってしまったという話が、とても増えています。

学校内外の友達とのトラブルで、特に多く聞かれるのが、「無料通話アプリ」を使用したものです。その多くは、「ネット上でこんなことを言われている。」「仲間に入れてもらえない。」「(書き込みで) 言い合いになった。」という訴えです。携帯やスマートフォンで、ネットを利用しなければ、巻き込まれることがなかったトラブルです。そのトラブルの多くが、学校で解決するにはとても難しいものばかりです。

学校での仲間づくりでは、相手に自分の気持ちを伝える方法として、「話す」「一緒に活動する」ということを中心にしています。話して初めて相手の考えが分かる、話している表情や声の様子で、相手の気持ちを察するという経験を重ねることで、仲間との信頼や絆が強くなっていくことを味わわせています。しかし、インターネットや携帯、スマートフォンでは、「他の人の顔や、声のトーン、雰囲気がわからない」つながりです。絵文字やデコメ、スタンプ等のツールをいくら使っても、相手が本当はどんな表情をしているのかはわかりません。

生徒 1 人に 1 枚、警察庁の作成したリーフレットの増し刷りをお渡しします。今、お子さんにスマートフォンを持たせることが本当に必要かどうか、家族で話し合ってください。お子さんにすでに持たせている、あるいは家族の物を共有しているご家庭は、使用時間やダウンロード等の約束をもう一度確認してください。また、どの家庭でも、「もしトラブルに巻き込まれたらどうするか」を話し合ってください。中学校生活では、携帯もスマートフォンも不要です。

中間テスト (6月19日)

今年度から 2 学期制になったので、6 月に中間テストを行います。中間テストは、国語、社会、数学、理科、英語の 5 科目で行います。取り組みが早い生徒は、すでに計画を立て始めているようです。テストですから、もちろん自分の力を試す場ですが、それは「できる限りの努力をした自分の力を試す」のです。

テスト前 1 週間は、部活動をお休みにします。学習に集中できる時間を増やすためです。また、6 月 14 日 (土) には、ドリーム学習会を行います。「わからないところ」がある生徒、「一人で土曜日に学習する自信がない」生徒は、担任の先生に相談して参加することをお勧めします。

職員健康管理の日

6 月から「職員健康管理の日」を月に数回実施します。遅くとも 18 時 30 分には、全職員退校します。6 月は、20 日 (金)、27 日 (金) を予定しています。

少年の主張大会 (6月14日 土曜日 9時から岐南中体育館にて)

今年度の少年の主張大会は、岐南中学校体育館で開催されます。3年生の代表6名が、堂々と発表してくれることを期待しています。どうぞお誘い合わせて、ご参加ください。駐車場は、グラウンドです。

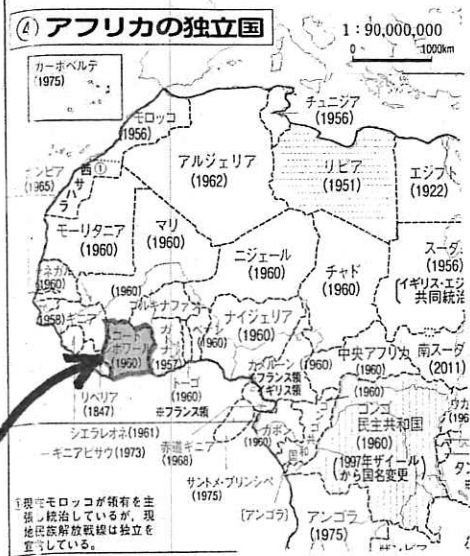
2014年(平成26年)6月7日(土曜日)

サッカー部とコートジボワール

今年は、4年に1度のワールドカップの年です。6月15日には、日本対コートジボワール戦が待っています。

岐南中サッカー部は、コートジボワールと交流を始めて今年で10年になります。ワールドカップでの日本の初戦が、コートジボワールということ、岐南中サッカー部が、今、脚光を浴び、新聞やテレビの取材を受けています。

FC岐阜は、6月14日(土)を「コートジボワールデー」として、長良川メモリアル球場で、FC岐阜対ジュビロ磐田戦(13時キックオフ)の前に「岐南中対コートジボワール」のオープニングゲームを入れてくださいました。また、11時から、メモリアル球場で「岐南中サッカー部ブース」をいただき、今まででも活動を紹介することになりました。



République de Côte d'Ivoire コートジボワール共和国 首都はヤムスクロ
地図:「中学校社会科地図 帝国書院編集部編」(帝国書院)

初戦「コートジボワールも頑張れ」

13日(日本時間)に開幕するサッカー・ワールドカップ(W杯)ブラジル大会。日本の初戦の相手・コートジボワールの人たちと、サッカーの試合や運動靴などを贈る活動を通じて交流を続けている岐阜県内の中高生らは、特別な思いを抱きながら両国代表にエールを送る。



「日本を応援したいけど、コートジボワールにも頑張ってもらいたい」。10年間にわたって交流を続けている岐南町立岐南中学校サッカー部の伏屋公輝主将(15)(3年)は複雑な表情

「日本を応援したいけど、コートジボワールにも頑張ってもらいたい」。10年間にわたって交流を続けている岐南町立岐南中学校サッカー部の伏屋公輝主将(15)(3年)は複雑な表情

顧問の河合善夫教諭(49)が、コートジボワール人で岐阜市在住の会社員カク・ブル・ジョー(50)と知り合ったのが交流のきっかけで、毎年の元日、国内各地に住む同国の人々を招き、交流試合をしている。今年の交流でカクさんと生徒らは「一緒に決勝トーナメントに行きたいね」と話していたという。一方、岐阜市ではNPO法人「ぎふ・コートジボワール」が不用となった靴を同市周辺の中高生から集め、同国に送る活動

交流続ける岐阜の中高生ら



部員らから集めた靴を整理する伏屋主将(3日、岐阜県岐南町の岐南中学校で)

靴は計3万1000足。杉山利夫理事長(60)は「市内のほとんどの高校が協力してくれるようになり、活動の輪が広がっている」と語った。5年前から卒業生の靴を送る私立富田高校3年生の安松優里に取組んでいる。2009年からこれまで届けた奈さん(17)は「使ってくれる子どもたちが将来サッカー選手になってくれたらうれしい。どちらも頑張ると期待を込めた。対戦前日の14日にはFC岐阜が長良川競技場(岐阜市)で「コートジボワールデー」を開催。岐南中と同国の人たちがサッカーのミニゲームで交流し、周辺では同校生徒らが同国支援のための募金活動を行う。